

2023年9月26日

## (臨床研究に関するお知らせ)

### 和歌山県立医科大学附属病院小児科に IgA 腎症、紫斑病性腎炎で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学小児科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

#### 1. 研究課題名

IgA腎症の腎予後予測分類作成のための国際多施設共同研究

#### 2. 研究責任者

和歌山県立医科大学小児科学講座 准教授 島友子

#### 3. 研究の目的

複数の国際的な IgA 腎症のデータセットを統合し、十分な人数と多人種を含んだコホートを作成し、オックスフォード分類を含む、複合的な腎予後予測分類を開発することで IgA 腎症進行の危険因子を同定する。さらに IgA 腎症と腎生検所見が類似している紫斑病性腎炎についても検討し、進行危険因子を同定する。更に IgA 腎症における蛋白尿寛解を予測する因子を検討する。

#### 4. 研究の概要

##### (1) 対象となる患者さん

IgA 腎症、及び紫斑病性腎炎の患者さんで、1997年5月1日から2018年3月31日までの期間中に、IgA 腎症の治療（検査）、紫斑病性腎炎の治療（検査）を受けた方

##### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、腎生検病理所見、臨床所見、治療薬の種類、経時的な臨床所見です

##### (3) 方法

世界腎病理協会と国際 IgA 腎症ネットワークの共催による「IgA 腎症の臨床病理分類に関する合同会議」のメンバーからなる研究組織により計画、実施されており、中央解析機関である The University of British Columbia (Canada) Sean Barbour 先生にデータを送付し、全世界規模での解析を行います。

#### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

#### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

#### 7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1 和歌山県立医科大学小児科学講座 担当医師 島 友子  
TEL:073-441-0633 FAX:073-444-9055 E-mail:yukotk@wakayama-med.ac.jp